



発行者
大曲商工会議所青年部
大仙市大曲通町 5-80
TEL62-1262
編集・発行
広報委員会

大曲商工会議所野球大会、秋田・大曲商工会議所野球交流会を終えて

広報委員会 千葉 光



6月13日、14日2日間にわたり行われた、大曲商工会議所野球大会に参加しました。

1日目1回戦、2回戦を勝ち上がりました。どちらの試合も大きな当た

りはないものの、1人1人が次のバッターにつなぐ粘りのバツティングでした。得点を取り、守備ではエラーはありましたが、チームでカバーし合うことができました。1、2回戦勝ち上がったのは、チームの結束力あつてのものだったと思います。



2日目の試合は相手の技術がすごく、コールド負けをしてしまいま

したが、今大会はたくさん試合を経験もできましたし、大健闘だと思えます。



また、7月31日秋田商工会議所との野球交流会がありました。

秋田チームの皆さんは普段から野球をしていたようで、1回の攻撃から打ち込まれてしまいました。大曲チームも3回なんとか食らいつきましたが、力及ばず負けてしまいました。しかし、お互いのチームからいいプレーには歓声が沸くなど、終始野球を楽しむ気持ちがあつたと思えます。私は残念ながら懇親会に参加で

きませんでした。試合中の雰囲気を考えるといい交流会になったと思えます。

次回も続けていけるよう頑張りたいと思います。また大会、交流会を行うにあたり、様々な方にご協力して頂きありがとうございました。

「新たな一歩」

研修委員長 木村 勝幸



平成27年度当初の委員会目標として「NEO大曲へ新たな一歩を踏み出す」と掲げさせていただきました。厚生医療センターを中心とする駅前の再開発事業とそれに伴う

インフラの整備なども完了し、いよいよ新しく生まれ変わる大曲で何か新しいチャレンジしてみたいという想いから湧き出た目標でした。

9月の若手後継者育成事業では、モデル経験もある吉武先生よりお越しいただき、印象戦略やアピール力強化法などを学びました。11月の講師例会では、あきた舞妓事業等を手掛けている水野先生よりお越し

いただき、舞妓事業の展望やご自身の出身地でもある秋田、大曲への想いをお聞きすることができました。どちらの事業もたくさんの会員の皆さんよりご参加いただくことができましたので、皆さんに興味を持っていただき、少しでも新しい雰囲気で行えたのではないかと自負しております。もし、皆さんの新たな一歩に貢献できたのならば幸いです。

新しい年を迎えました。この先もチャレンジを忘れることなく、フレッシュな気持ちで精進していきたいと思います。皆さん今年もよろしくお願いいたします。

「大曲の夏」

事業委員会 深澤 智史

今年は、初めての試みで事業委員会がお預かりし、全国花火競技会公式グッズを販売させて頂きました。



1回目が、枚数券抽選会、2回目は大曲夏祭りでの販売でした。どちらにも、花火鑑賞士さんが今年限定商品という事で、遠くから駆けつけて下さった方々もおりました。

そして、夏祭りの食品ブースも事業委員会の2大行事です。今シーズンは初メニューとして蕎麦の素揚げ、

チロスに挑戦でした。心配していたお天気にも恵まれ、生ビールにジュースが例年に比べて好評でした。



事業委員会は、現場重視の委員会です。夏祭りからはじまり、8月の花火大会に向けて準備が進んでいきます。何が売れるか?どんな商品に興味を持ってもらえるかなど、市場調査も事前に大切です。当日のお客様のご意見も次年度の参考になります。単にお預かりした商品を売るだけの委員会ではないと学びました。

売るだけが委員会の業務ではなく、いかに花火をブランド化して、会場でしか買えないものを、会場に来て頂き購入していただくか、今回

の公式グッズがまさにそうでした。大曲に来ないと購入できない、来た人だけが購入できるグッズでした。事前にホームページなどでプロモーションをおこなわせて頂いた内容を見て来て下さる方が多かったです。ネット社会になった、今の時代ならではの反響が当日感じました。



Tシャツのバックには花火師さん達の打上げ順にプリントされており、花火ファンからは「嬉しい」など喜んで購入して下さる方が多かったです。タオルやフード付きタオルも大曲の花火ブランドの名前

が入っていることを喜んで下さる方が多かったです。

今年限定という言葉に、メリットを感じて下さるお客様が多かったことを学びました。今では全国に花火鑑賞士さんが約1000人いらっしゃると思います。花火大会のファンが年々増えているのを感じます。会場にいると沢山の嬉しいお言葉を頂きます。28年度は、年4回の花火大会が開催される予定です。今まで以上にお客様に接する機会が増えていきます。その方々にこれからは「おもてなし」ができる委員会であり、喜んで下さる方がどんなニーズなのか事前に情報収集して、大曲の花火ブランドを盛り上げていきたいと思いました。

YEG 東北ブロック大会 in 石巻 事業報告

大友信博

2015年9月19日、20日と宮城県石巻市において、第34回東北ブロック大会「みやぎ石巻STAGE」が盛大に開催され、大曲商工会議所青年部(以後大曲YEGと称する)から多くの仲間たちが参加しました。



当日(19日)は、まだまだ夏の暑さも残る天候のなか、午前中には式典会場となる石巻専修大学にて多くの仲間たちが集いました。式典後は同会場にて「震災復興フォーラム in 石巻」が開催され、震災から約5年あの悲惨な震災を忘れることなかれ、今一度多くのことを認識し直し、私たちが今できること、これからやれることをあらためて考えさせられました。

昼食は地元石巻市の名産やご当地グルメなどたくさん美味しいメニューを用意いただき、心からの

宮城石巻流おもてなしを存分に楽しみ、仲間一同満喫することができました。

午後からは4つの分科会が開催され、その中の一つ、「マンガタ×Maki×2 AWARD」を拝見してきました。YEG 東北ブロック各6県から選出された事業の紹介を経て、最も優秀な事業を決めるというもので、秋田県青連からは湯沢 YEG の事業が選出され多くの YEG メンバーに事業を発信することができました。選出された各県の事業においては優秀をつけなくても良いのではないかと思うくらいどれも大変素晴らしいものばかりで、今後の大曲 YEG についてのまちづくり、ひとつづくり事業への貴重な参考となりました。



夕方からは石巻市サンファンパークへと移動し、大懇親会が屋外にて盛大に行われました。大懇親会のスペシャルゲストには岡本真夜さんが姿を現し、世代的にドストライクの私たちは岡本真夜さんの当時の流行曲を口ずさみながら石巻流おもてなしメニュー&地酒を堪能しました。

今回の YEG ブロック大会において切に感じたことは、やはり震災から立ち上がる復興のエネルギーを沸々と感じながらみんなで過ごした YEG ブロック大会 in 石巻。まさ

に YEG オール秋田、東北！です。今回もまた旅の道中では色々なトランプやハブニングなどがあり、それもまた大変思い出深い旅となりました。

お世話になった石巻 YEG のメンバーに感謝。そして共に参加した大曲 YEG のメンバーに心から感謝です！さて、来年(28年度)は岩手県盛岡大会、再来年(29年度)は青森県五所川原大会、平成30年度の大曲大会あと2年…。楽しみもありますが、不安もあります。また大勢の仲間たちと東北ブロック事業に参加し、当単会の本番へ向けて多くを学び、楽しみながら着々とみんな準備を進めて行きたいと感じました。

【大曲の花火・秋の章を終えて】 花火まちづくり委員会

粟津 憲靖

今年の夏の花火大会では安全安心な大会運営をめざし、今回で3回目となる火災事故訓練も念入りに行なった甲斐もあり、大きな事故もなく、無事に終了することができ皆さんほっとしたと思います。大会2



日前の準備作業は日差しも強く立っているだけでくらくらするぐらいの晴天でしたが、その日の夜は豪雨と暴風！1日前の日中は降ったり止んだりのさえない天気でした。そんな中、今年は棧敷席に貼ってある番号札がからすなどにちぎられ、さらに強風により飛んでなくなってしまうその補修作業にかなりの時間を費やされました。当日は朝から雨。たまにやわらぐ時間に手分けして棧敷席の水たまりやトイレ前、通路などをスポンジや水切り

モップなどで吸い取る作業も加わり、こちらもかなりの労力を費やしました。吸い取っても一時的な強い雨でまた元どおり！それを打ち上げられる直前まで繰り返し行い、昼花火がスタート。相変わらず降ったり止んだりが続きましたが、夜の部では観覧者の思いが通じたのか、ピタッと止み、雲も無く、煙のはけ具合もよく、澄んだ夜空にきれいな花火が打ち上げられ、どよめきと歓声に包まれながら最高の花火を見せてくれたと思います。今年も感動をありがとうございました。

また、今年は大曲の花火 秋の章 飯田物語」が10月10日に開催されました。昨年は国民文化祭県民参加事業として開催し、約3万人の観覧者を魅了したということもあり、大曲の花火の年間行事としての一つとして新たに加わりました。

当日は秋晴れの最高の天気にも恵まれましたが、その前からの雨の影響で開始前は排水作業に追われました。18時から約1時間くらいですが、解説付きの割物花火競演や花火ミュージカルなどで大いに楽しませてくれました。

棧敷席にいる人だけでなく、花火

を観にきた人全員に感動と、来てよかった。これが日本一の花火大会だ。と言ってもらえるように花火の質だけでなく、私たちの会場運営も完璧に近づけられるよう今後もがんばって行きたいと思います。お手伝いしてくださいました皆さん、本当にありがとうございました。

平成27年度臨時総会

小西許子

去る11月4日、大曲プラザたつみに於いて臨時総会を開催させて頂きました。

議案内容は、次年度体制に向けた平成28年度会長選任案、副会長・専務理事選任案、設置委員会及び監事・理事・出向者選任案として平成28年度一般会計収支補正予算案について滞りなくご承認を頂きました。ご参加頂いた会員の皆様そして委任状出席にてご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

平成28年度大曲商工会議所青年部会長予定者伊藤洋平君の誕生です。次年度は伊藤会長予定者の意向もあり、従来の設置委員会に加え新た

に、29年度の大曲YEG20周年記念事業、そして30年の東北ブロック大会開催に向けての準備委員会を設置し様々な事業や行事に取り組む計画でございます。

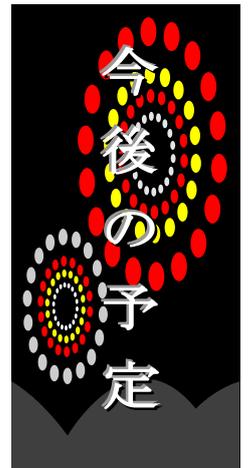
また、齋藤健太郎君を東北ブロック商工会議所青年部連合会・東北交流委員長として輩出されるのを始めとし、県青連・Bラインも出向者が多く、単会以外でのメンバーの活躍も期待される年度になりそうです。周年事業やブロック大会開催に繋げて伝えて行く活動にしていきたいと存じます。

また、親代会頭はじめ副会頭・専務理事、御多忙の中ご出席を賜り感謝申し上げます。

最後に佐々木繁治会頭からの、会員に向けた激励のお言葉を頂戴致しました。

27年度事業もまだまだ残っておりますが、28年度の準備に奔走する時期となりました。

新年度早々の国際花火シンポジウムプレ大会を皮切りに28年度も多忙な1年となりそうです。会員一丸となって取り組み、有意義で実りある1年と致しましょう。



4月25日(月曜日)

「大曲商工会議所青年部

通常総会」

(大曲プラザたつみ)

4月29日(金曜日)

国際花火シンポジウム プレ大会

「大曲の花火」春の章

(大曲花火大橋下流河川敷)

~~~~~  
 編集後記 言い訳がましいのですが、めちゃくちゃ忙しい一年でした(汗)。ラジオもやっただし。終わってみると、奔流が一度きりの発行になってしまいました(しかも年度末の発行)。ブログもご無沙汰ペース。その他、広報委員会としての仕事も後手後手と、反省ばかりの一年でした。来年度も広報委員会なので、27年度の反省を活かして頑張りたいと思いますっ!! (27年度広報委員長)